

私のパソコンに連日、「いまなら Windows 10 に無償でアップデート」というコマーシャルが滑り込むので、10 日ほど前、じゃあ、試してみようか、とOKを入れてしまいました。インストールにかなりの時間がかかりましたが、難なく、Windows 10 になってしまいました。

最初のページから、まるでスマートフォンのようなディスプレイになり、買い物やニュース、ゲームの情報が瞬時に得られるようです。アイコンはタスクバーに残るのみ。どこを見れば、何があるのか、分からず、**闇雲**にさわってみるしかありません。インターネットの検索でも文字列例表示でも、確かにスピード感が全然違います。こういう感じが若者には向いているのかと思わせられました。

パソコンは、ワープロ、計算、メールの作業、ファイルの保存とインターネットができて、私には夢のような便利な機械で有難いのです。Windows 10 はこれらに満足できましたが、デジカメからPCへの画像を送る機能が壊れて作動しなくなりました。カメラからUSBやメモリーカードなどを使って何度送っても、また、新規にアプリをいれても、全くダメ。いつもながら自分の、**やみくも**にやってしまう癖に、がっかりしながら Windows 10 と格闘しました。知識もなく、「下手な鉄砲も数撃ちや当たる」的な、トライを重ねましたが、さっぱりダメ。Windows 10 を外し、元のバージョンに戻しました。元のチンタラ検索に戻りましたが、写真を取り込めた時にはホッとしました。この 10 日間、カメラの写真を保存できないことは苦痛でした。なぜなら、素敵なものをカメラに入れておいたからです。

まず、第一に、去年、友人たちと楽しんだスーパームーンの再来があったのです。去年、始めてスーパームーンという言葉を知りました。明るさが増して、大きく見えるという仲秋の名月です。

ところが前日はひどい雨でした。諦めかけていたのに、不思議なことに夕方近くに、突然雨が止み、パッと太陽が顔を見せたのです。私は虹が出ると思いました。スーパームーンの露払いのように、北の空に大きく虹がかかりました。パチリ！

次の日、夜は薄雲がかかりましたが、雲間から、スーパームーンが現れてくれました。本当に久しぶりの輝く空になりました。月は夕方に東から上り、真夜中は南に移り、雲と競演でした。パチリ！

その日の夕方に、友人が、お団子を手作りして持ってきて下さいました。なんというタイミングの良さ！甘い餡子を絡ませて、ペロリといただきました。その前に、パチリ！カメラから画像をこのように引き出せて、私の胸の暗い闇がパッと取り払われたような楽しさでした。



また目を上げて天を仰ぎ、太陽、月、星といった天の万象を見て、これらに惑わされ、ひれ伏し仕えてはならない。それらは、あなたの神、主が天の下にいるすべての民に分け与えられたものである。(申 4:19)